

ビーンズレター

噛めない・飲み込めない

かめない・のみこめない

みなさんは食事のときにこんな症状はないでしょうか？
チェックしてみましょう！

- 1、口から食べ物がこぼれる
- 2、口の角から食べ物がこぼれる
- 3、飲み込まずにいつまでたっても食べ物が口の中に残っている
- 4、むせる、せきこむ
- 5、食べたあと、声がかすれる
- 6、食事の時間が長くなる
- 7、肺炎を繰り返す
- 8、タンに食べ物が混じっている

これらの症状が見られる方は、「摂食・嚥下障害」の疑いがあります。「摂食・嚥下」とは簡単にいうと「かむこと・飲み込むこと」ということです。

摂食・嚥下のメカニズムは5段階に分類され、このうち1つでも障害が起こることを、「摂食・嚥下障害」といい、冒頭に上げた8つのチェック項目のようなことが症状として起こります。

先行期；オイシソウ

食物を認識して、何をどのくらい、どのように食べるかを決定し、行動する時期に障害があると...

- ・食べ物を見ても反応しない

準備期；パクッ、モグモグ

食物を口の中に取り込み、噛み砕いて飲み込みやすい食塊を作る時期に障害があると...

- ・口から食べ物がこぼれる
- ・口の角から食べ物がこぼれる
- ・盛んにモグモグするが、口の中を開けてみると
- ・食べ物がそのままの形で残っている



むし歯や歯周病で噛めなかったり、入れ歯がうまく

使えないと、食べ物を噛み砕き、すりつぶすことが出来ません

口腔期；ゴックン

飲み込みやすくなった食塊を咽頭に送り込む時期に障害があると...



- ・盛んにモグモグするが、一向に飲みこめない
- ・モグモグしている最中にむせやすい
- ・飲み込んだと思い、口を開けると食べ物が残っている

咽頭期；ゴックン、ソグンク

嚥下反射によって食塊を食道に送り込む時期に障害があると...

- ・飲み込むとむせる
- ・食べた後かすれ声になる
- ・痰に食べ物が混じっている

このとき咽頭部の機能が低下していると誤嚥（食塊が気道に流れ込まずに気管に流れ込んでしまう）

を起し、これが誤嚥肺炎の原因となります

食道期；アーオイシカッタ

食塊を胃に送り込む時期に障害があると...

- ・就寝してからむせる
- ・肺炎（熱発）を繰り返す
- ・食べ物が逆流し、嘔吐する時がある



食べられるって幸せ！

編集後記
私たちは歯科に関しては勿論のこと、いかに生き甲斐のある歯科医院にするかを目的に、毎月2回の勉強会を行っています。例年はスタッフだけでの勉強会でしたが、今年は院内に留まらず、外にも目を向けてみようと言うことになりました。他業種の方と連携をはかり、人の輪を広げ、自分たちの学習分野を増やせていけたら、スタッフ一人一人、さらに歯科医院全体の成長に繋がると考えたからです。
そして第1回目として、平成14年3月4日に「言語聴覚士」の谷内田綾さんを講師にお迎えし、「摂食・嚥下障害」のお話しをしていただきました。言語や聴覚に傷害のある人々に対して、障害された機能と、それによって生じるコミュニケーション上の問題を評価して、その改善や維持あるいは代替手段を行ったり、摂食・嚥下障害の訓練も行ったりする国家資格者です。
次号では摂食嚥下障害の評価や訓練方法、そして介助方法についてお伝えしていきたいと思えます。